

色彩語メタファー表現に関する研究 —「バラ色」と「灰色」を例にして—

王 軒 (東北大学大学院文学研究科)[†]

Collocation and Metaphor: A Corpus-based Research on Color

Words in Japanese

—Taking *barairo* and *haiiro* as Examples—

Xuan Wang (Graduate School of Arts and Letters, Tohoku University)

1. はじめに

日常生活においては、人々は自分の感情、考えを分かりやすく相手に伝達するとき、文字通りの発話での表現がある一方、メタファーの使用も必要不可欠である。メタファー研究の一考察として、本稿では、我々と深いかわりを持っている「色彩語」に注目した。具体的には、色彩語「バラ色」と「灰色」を例にして、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(以下、BCCWJと略す)から収集した用例を分析することによって、色彩語を用いて成立したメタファー表現の特徴及びメタファーの役割を考察することを目的とする。

2. 先行研究と問題設定

坂本・古牧(2005)は、心理実験と文学作品コーパスを用いて、「赤い」「青い」「黄色い」「白い」「黒い」いわゆる基本色彩語¹が名詞を修飾する形式のメタファー表現を対象にして考察した。心理実験の結果から、「色彩語が本来物理的色彩をもたない心的状態などの抽象物を指示する名詞を修飾している色彩語メタファーでは、色彩語単独の場合とは異なる意味が喚起され、特に否定的なイメージが喚起される傾向が見られた」と指摘した。また、色彩語が否定的なイメージをもつ抽象物を指示する名詞を修飾している例が多いことが文学作品コーパスを用いて確認された。

また、坂本・内海(2007)では、喩辞である色彩形容詞と比喻辞である名詞の意味の相互作用に基づく意味変化のパターンから、色彩形容詞の否定的意味の喚起が生じるかどうかを実験的に検討した。その結果、対象とした色彩形容詞メタファー表現について否定的意味が喚起されると指摘した。

今までの研究は主に基本色彩語を対象に、色彩語メタファーによってどのようなイメージが喚起されるのかをめぐって論じられていたが、色彩語メタファー表現の特徴及び色彩語を用いた表現の意味変化においてメタファーの役割について論じることが稀である。更に、研究対象として、基本色彩語の下位分類の色彩語と非基本色彩語をめぐって言及されていない。上述した先行研究を踏まえて、本研究は「非基本色彩語」である「バラ色」と「基本色彩語」の下位分類に属する「灰色」を対象にして、考察する。

[†] wangxuan777@hotmail.co.jp

¹ 連続した色空間を日常生活に必要な最も基本的な単位に分類したものである。最も多くの言語において共通するのは白と黒である。さらに、赤、青、黄、緑という概念も多くの言語に存在している。日本をはじめとする大部分の言語では、更に六つの中間的な色である、灰色、茶色、ピンク、オレンジ、紫を加えて、全11個の基本色彩語が存在する。

3. データと分析方法

コーパスデータは BCCWJ の Web 版アプリケーション「中納言」を利用し、色彩語「バラ色」と「灰色」の表記法(平仮名、片仮名、漢字表記)を配慮した上で抽出した。その結果、「バラ色」と「灰色」それぞれ計 230 例と 1160 例が収集された。具体的には表 1 に示す。(以下説明する際、表記の形式としては「バラ色」と「灰色」に統一した。)

表 1 抽出サンプルの集計

色彩語	表記法									合計
	平+平	平+片	平+漢	片+平	片+片	片+漢	漢+平	漢+片	漢+漢	
バラ色	1	0	34	1	2	138	1	0	53	230
灰色	8	0	0	0	19	0	13	0	1120	1160

次に、収集したサンプルを手作業によって、分析用例と除外例に分けてまとめた。まず、「バラ色」に関しては、以下の用例を本研究の検討の対象から除外した。(計 33 例)

- ①複合色彩形容詞：(計 9 例) 深いバラ色、薄バラ色、淡いバラ色など
- ②韻文(短歌・詩・俳句)：(計 6 例) 例文(略す)
- ③固有名詞：(計 2 例)「バライログモ」など
- ④引用・題名：(計 10 例)「バラ色の雲」『ぼくのバラ色の人生』など
- ⑤メタ表現：(計 1 例)「～薔薇色は、明るい希望に満ちた世界をたとえることが多い。」
- ⑥明喩表現：(計 2 例)

「嫌煙者はまるでタバコ千円をバラ色のように考えていますね。」など

また、「バラいろ」「薔薇いろ」「ばらいろ」の用例が 1 件ずつ検索された。その中で、「ばらいろ」の例は引用である。「バラいろ」と「薔薇いろ」の例は色彩そのものを指しているけれども、表記法の使用頻度が高くないため、今回の分析対象から除外した。

続いて、「灰色」に関しては、計 233 例の用例を本研究の検討の対象から除外した。

- ①複合色彩形容詞：(計 69 例) 薄灰色、青灰色、淡い灰色など
- ②韻文：短歌・詩・俳句 (計 16 例) 例文(略す)
- ③固有名詞：(計 48 例) 灰色熊、灰色狼、灰色アルパトロス、灰色カビ病など
- ④引用・題名：(計 32 例)『灰色の渦』『灰色のなかに』『灰色の男たち』など
- ⑤～っぽい：(計 15 例) 灰色っぽい汁、灰色っぽい覇気のない会社など
- ⑥灰色系：(計 3 例)「彼女にはキスマークの灰色系の上下を進めました～」など
- ⑦メタ表現：(計 4 例)「闇夜の猫はどれも灰色」など
- ⑧ファンタジー人物：(計 43 例)「灰色の武神」「灰色の紳士」
- ⑨明喩表現：(計 1 例)「灰色のような運勢」
- ⑩不明：(計 2 例)「灰色の玉」「悲しげな灰色の風」

検索された「ハイイロ」の用例は、全部「ハイイログラン」などの固有名詞類であり、今回の分析対象から除外した。

続いて、辞書『大辞林』三省堂(1989)は色彩語「バラ色」と「灰色」の意味を次のように記述している。

・ばらいろ<薔薇色>

- ①明るい、うすくれない色。淡紅色。「バラ色の頬」
- ②(比喩的に)しあわせや希望に満ちている状態。輝かしい未来などを象徴する色。
「バラ色の人生」「バラ色の未来」

・はいいろ<灰色>

- ①灰のように薄黒い色。ねずみ色。グレー。「灰色の空」
- ②暗い気持ちで、心に喜びのない状態。さびしく陰気なこと。「灰色の人生」
- ③黒と白の中間の色であるところから、犯罪などの容疑が、十分には晴れていないこと。

辞書による色彩語「バラ色」と「灰色」の意味の解釈に基づいて、二つの色彩語を含む表現の意味の分布をまとめた。表2と表3が示したとおりである。

表2 「バラ色」を含む表現の意味の分布

色彩名	バラ色（125例）				薔薇色（43例）				ばら色（29例）				計（197例）
「バラ色」の意味	字義の意味		比喩の意味		字義の意味		比喩の意味		字義の意味		比喩の意味		
表現形式	～の	以外	～の	以外	～の	以外	～の	以外	～の	以外	～の	以外	
サンプル数	37	20	39	29	18	12	3	10	11	4	6	8	
色彩統計	57				30				15				102例（52%）
メタファー表現統計			68				13				14		95例（48%）

表3 「灰色」を含む表現の意味の分布

色彩名	灰色（911例）				灰いろ（11例）				はいいろ（5例）				計（927例）
「灰色」の意味	字義の意味		比喩の意味		字義の意味		比喩の意味		字義の意味		比喩の意味		
表現形式	～の	以外	～の	以外	～の	以外	～の	以外	～の	以外	～の	以外	
サンプル数	532	268	80	31	9	1	0	1	4	1	0	0	
色彩統計	800				10				5				815例（88%）
メタファー表現統計			111				1				0		112例（12%）

本稿では、「バラ色」を含むメタファー表現 95 例、「灰色」を含むメタファー表現 112 例を抽出した。これらの表現に対して、それぞれ「色彩語の～」という表現形式とそれ以外の表現形式に分けて考察する。色彩語メタファー表現の共起語を確認する一方、「色彩語の～」以外の表現形式をまとめることによって、その共起表現及び当該色彩語の比喩的意味の使用上の活性化を明らかにする。最後に、分析対象とする「バラ色」と「灰色」を含むメタファー表現の特徴及びメタファーの役割を考えていく。

4. 結果と考察

4.1 「バラ色」を含むメタファー表現に関する考察

今回、BCCWJ を用いて、「バラ色」を含むメタファー表現 95 例を抽出した。その中に、「バラ色の～」という表現形式が 48 例であり、「バラ色の」以外の表し方は 47 例が抽出された。それぞれのまとめは下記の図1と表4のとおりである。

まず、図1を見ると、[バラ色の人生]が10例、「バラ色の未来」が9例、「バラ色の日々」/「バラ色の毎日」が4例、「バラ色の生活」が4例、「バラ色の夢」が5例である。そのほか、「バラ色の時間」「バラ色の幸福」「バラ色の期待」「バラ色の二十一世紀」「ばら色のスローガン」「バラ色の解決策」などの表現も現われた。具体例は下記のとおりである。

(1)～評価、これを繰り返すことで活気が出る、活性化する仕組みになるわけです。バラ色の人生だったら、感性が影響されますから、物事がみんな明るく見えるわけです。～

(坂元昂, 2003『感性と独創力』)

(2)～「そうじゃなく」「気にするな。ねえやが来てからは、バラ色の人生だった。そして今の俺は、お前が側にいてバラ色だ」。～

(高月まつり, 2005『家政夫様には逆らえません』)

(3)～寝太郎がいない日々を。大変だろうけれど、私を煩わすモノが一つ減った日々を。薔薇色の未来がやってくると信じるほど私はおめでたくない。～

(Yahoo!ブログ, 2008)

(4)～経済法則の貫徹するところ、ついにはアヘン貿易すら合法化せざるをえないであろうと、清国貿易の前途に甘い薔薇色の夢を描きだす。～

(衛藤瀋吉, 2004『近代中国政治史研究』)

(5)～各政党は、選挙前には立派な公約を掲げ、ばら色のスローガンを叫びます。～

(Yahoo!ブログ, 2008)

(6)～公務員になってばら色の人生が迎えられと思って、折角の勉強を無駄にしたくないものですから。～ (Yahoo!知恵袋, 2005)

(7)～地元のヒーロー的ゴルファー、ラナルフ(マット・デーモン)と結婚して、バラ色の生活を送っているが、第一次大戦に召集されて戦地で～

(小野亜優, 2001『SCREEN』)

例(1)、例(2)と例(6)はともに「バラ色の人生」というメタファー表現が用いられている。例(1)の場合、我々は気分がいいので、「物事がうまくいっている」とき、「ずんずん調子がよく」「どんどん物事を進めていく」、このような「バラ色の人生」いわゆる「幸先がいい」だったら、「物事も明るく見える」ということである。例(2)はなぜ「ばら色の人生」というのか、「お前が側にいてバラ色だ」という「幸せ・幸福」に満ちているからである。似ている状態が例(7)にある「ばら色の生活」即ち「結婚生活」においても見られる。また、例(6)にある「公務員になってばら色の人生を迎える」という表現を通して、「バラ色」のその「前途が明るい状態」という意味が十分理解できる。

例(3)の場合、「煩わすモノとしての「寝太郎(旦那?)」がいないと、「薔薇色の未来」がやってくる、このように「薔薇色」と「未来」との組み合わせによって、邪魔者無しのこれからは幸先が良くなり、「幸せに満ちている状態」になると感じられる。ただ、話者はそこまで幸せになれると思わないようである。

例(4)をみると、近代中国では、「アヘン貿易の合法化」により、当時の「清国貿易の前途」も大きく開けているように思われる。このような「薔薇色」と「夢」との共起により、「輝かしい未来への憧れ」が生き生きと感じさせるようになると思われている。例(5)にある選挙前に叫んでいた「ばら色のスローガン」も、「輝かしい未来」「いい幸先」へのアピールになる。

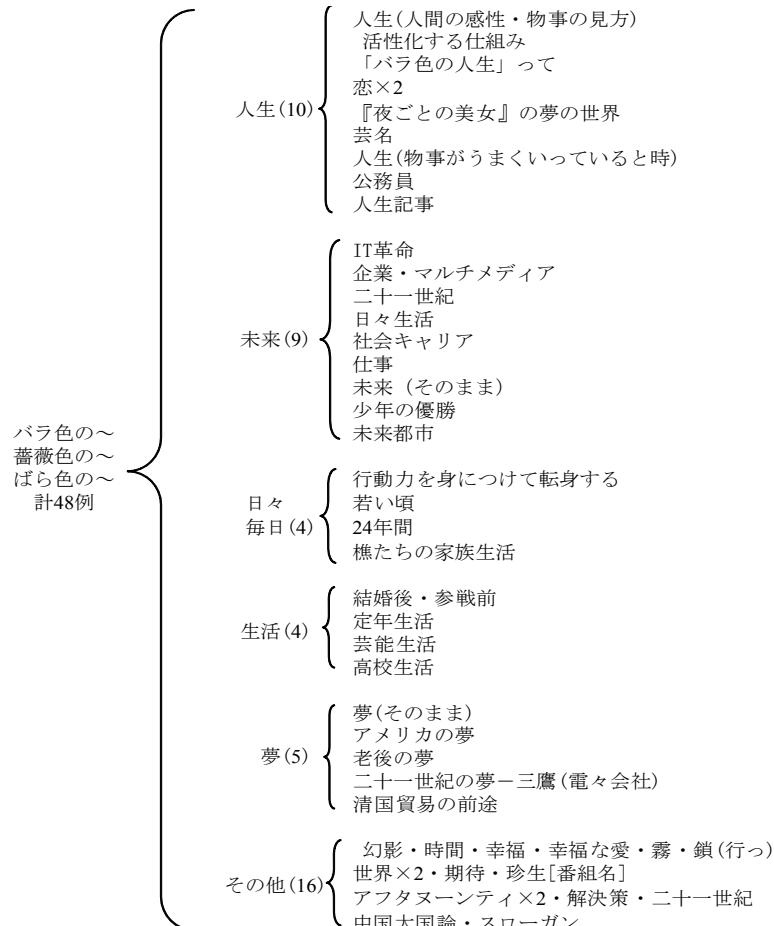


図1 「バラ色」を含むメタファー表現① — 「バラ色」の共起語 (48例)

図1が示したとおり、「バラ色の日々・毎日」「バラ色の生活」「バラ色の夢」など、それぞれいくつかの派生したメタファー表現も抽出された。「バラ色の日々・毎日」の中で、「行動力を身につけて転身する」「若い頃」「24年間」「札幌に住んでいた樵たちとその家族の生活の日々」の形でまとめたが、これは筆者が用例の前後の文脈によってまとめたものである。また、「バラ色の生活」の中では、更に詳細になり、身の回りのことと深く関わっていることが分かった。たとえば、「定年生活」「芸能生活」「高校生活」等の表現が見られた。一方、「バラ色の夢」の場合、「夢」そのままのほか、「アメリカの夢」「老後の夢」の形で使われている。更に、「清国貿易の前途」例(4)のような指示対象を修飾する表現も現れた。

続いて、「バラ色の」以外の表し方(計47例)について分析を行う。表4に示したとおり、まず、「バラ色」の共起表現が多種多様であることが分かった。

表4 「バラ色」を含むメタファー表現② — 「バラ色」の共起表現 (47例)

文脈表現	共起語	用例数 (計47例)
～ばかりではない/だった/です/だ/で/である/ではない/じゃない/ではなくなった	この世 毎日 未来 定年以後 結婚 恋 世界×2 企業社会 長生き 人生 政権交代 社会生活 会社勤めの毎日 超高齢化社会 心	16
～輝いて/輝かせて/に輝いている/に輝き	絶大の栄光に包まれた(未来) 頬×3 世界の縁・未来	6
～に描きすぎなかった	近代都市の自由自治	1
～とまでいわない/という話/こと/とはいう/といえ	未来生活 定借住宅を買えば 毎日	4
～にする	人生	1
～に塗りつぶされている	情報化社会の未来	1
～に見える/見えている/見ようとした/を見た	転職 明治百年 その他	3
～になる/となる	幻想 戦略による見返り・老後・人生	4
～に語る	情報技術	1
～に包まれている	個々の人生、会社生活	1
～に染め ～に染まった	頬 結末[地獄]	2
～を期待する	二十一世紀・その他	2
～一辺倒に唱えられていた	情報社会	1
～らしい	未来	1
～に上気した	顔	1
～と思えない	未来	1
～にいろどる	北海道の開拓の前史	1

「バラ色」を含むメタファー表現の指示対象が「人生」「未来」などの他、「結婚」「会社勤めの毎日」「転職」「超高齢化社会」「長生き」「世界の縁」「政権交代」「戦略による見返り」「北海道の開拓の前史」なども抽出された。要するに、「バラ色」という色彩語の比喩的な意味は辞書による「幸せ」「希望に満ちている状態」「輝かしい未来」の他、「順風満帆の先」「恵まれた」「幸先がいい」などの感情が示されたように、われわれの日常生活に深く関わり、さまざまな場面で頻繁に使われていることが分かった。具体例を見ると、

(8)～転職先として思い描いている会社もありますが、単に疲れがたまって転職がバラ色に見えているだけかもしれません。みなさんなら、適職・高給・残業・休みなし、と、それなりの職・それなりの給料・残業なし・休みきっちり、ではどちらを選びますか。理由もあわせて教えていただけるとありがたいです。～

(Yahoo!知恵袋, 2005)

(9)～時がたつとともに、この戦略による見返りはバラ色となり、長い目で見ればすべて「めでたし」「めでたし」ということになる。～

(大前研一, 1999『企業参謀—戦略的思考とはなにか』)

(10)～しかし、残念ながら、北海道の開拓の前史をばら色にいろどる逸話のみをつづりあわせて、この時期をえがくことは、かえって真実をゆがめはしないかとおそれる。～

(成田龍一, 1995『日本残酷物語』)

「転職の先」をめぐる、例(8)が挙げられた。「バラ色」と「～に見えているだけかもしれません」という表現との共起によって、「順風満帆の先」「恵まれた先」に予想通りになれない事実を、より躍動感のある表現として、より婉曲的に我々に伝達する効果が与えられた。

「バラ色」を含むメタファー表現は、よく「詩」や「文学作品」などで用いられるという先入観をいだいているだろう。上述した用例を見ると、「バラ色」と共起し用いられたメタファー表現はごく自然さと親切さを持ち、われわれの身の回りの様々な場面に応用し、誰でも普通に使える表現であることが分かった。

さらに、例(9)にある「戦略による見返り」と例(10)に現れた「北海道の開拓の前史」の用例を見ると、「バラ色」を含むメタファー表現の魅力、次々新しく派生してきた表現が社会と人間生活・人間活動に応じて変化しつつあり、我われの身の回りとの親近さに対して更に切実に感じられるようになった。そして、「二十一世紀」「明治百年」などのような表現から見ると、派生したメタファー表現の一特徴として挙げられるのは、一時性であると考えられる。また、「頬」「アメリカの夢」「中国大国論」などの表現は、前後の文脈や事前に一定程度の知識を持っていないと、理解しにくい傾向がある。「頬」の場合、ただの「肌の色」であるのか、恋や愛情で「幸せに満ちている頬」であるのか、断言できないゆえ、派生したメタファーが曖昧性を持っていると考えられる。

また、「バラ色の生活」の中に、「定年生活」「芸能生活」「高校生活」などの表現も現れたが、このようなメタファー表現を見ると、派生したメタファー表現のもう一つの特徴として挙げられるのは可変性であると思われる。

4.2 「灰色」を含むメタファー表現に関する考察

今回、BCCWJを用いて、「灰色」を含むメタファー表現 112 例を抽出した。その中に、「灰色の～」という表現形式が 80 例であり、「灰色の」以外の表し方は 32 例が抽出された。それぞれのまとめは下記の図 2 と表 5 のとおりである。

辞書によると、「灰色」の比喩的な意味に関しては、「暗い気持ちで、さびしく陰気なこと」と「犯罪などの容疑が、十分には晴れていないこと」が述べられている。これらの意味をもとに、よく用いられている表現として「灰色の人生」「容疑が灰色のまま釈放される」などが挙げられる。

図 2 を見ると、「灰色高官」のメタファー表現が一番多く、計 23 例があった。似ているような表現として、「灰色議員」が挙げられる。また、「灰色決着」「灰色の判定」及び「その他②」のなかに現れた「学位」「記録」「領域」「情報」「文献」措置」「ビジネス」などの表現は、「灰色」の二番目の比喩的な意味、すなわち「疑惑のあること・十分には晴れていないこと、はっきりしないこと」を示している。具体的な用例は下記に示す。

(11)～だが、八十六年に「労働者派遣法」が成立するまでは、中途半端な、灰色のビジネスと見られていた。～

(芦崎治, 2004『逃げない人を、人は助ける—テンプスタッフ成長の哲学』)

(12)～二十一世紀のユーゴスラビアの未来を占う重要な闘いはしかし、蓋を開けてみれば限りなくクロに近い灰色の判定で幕が下りた。～

(木村元彦, 2005『終わらぬ「民族浄化」セルビア・モンテネグロ』)

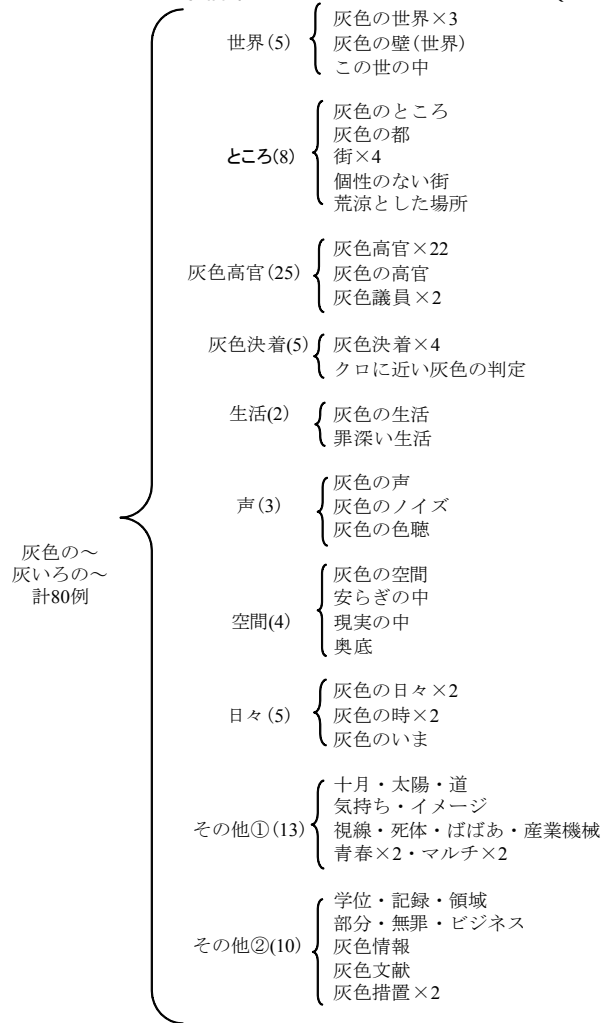


図2 「灰色」を含むメタファー表現① — 「灰色」の共起語 (80例)

一方、「灰色」のもう一つの比喩的な意味、いわゆる「希望がなく暗い気持ちで、活気のないこと」を用いて使われた表現として、「世界」「世の中」「ところ・場所」「街」「生活」「声」「空間」「現実の中」「日々」「気持ち」「イメージ」「青春」「灰色ばばあ(気難しいところのある方)」などが抽出された。具体例は下記のとおりである。

(13) ～漆黒の蔭、不吉な悪夢、すべての幼い男の子の脳裏に、その灰色の奥底に、永久に棲みつく恐怖の幻。～

(ジャッキー・ヴォルシュレガー(著)/安達まみ(訳), 1997『不思議の国をつくる』)

(14) ～古代ローマ人の生活は、質素で規則正しい、灰色の生活であった、と書物は教えて呉れるが、それはまた、地中海や東方の質の異なる文明を一つに融合統一したローマ文明の秘密なのかもしれない。～

(森有正, 1999『森有正エッセー集成』)

(15) ～これから先、忍には、片足を失ったままでの長い人生が、はじまるわけである。沖の人生も、当然、暗く長い灰色の道となるであろう。～

(城山三郎, 1976『毎日が日曜日』)

(16) ～汚ない。灰色の個性のない街。無秩序。個々に主張しあい統一感がない。～

(松尾羊一, 1989『ザ・渋谷研究—若者を吸引する渋谷現象とは何か』)

(17) ～生きる意志も動く意志もない、灰色の荒涼とした場所にさまよい込んでいた。～

(イサドラ・ダンカン(著)/山川亜希子(訳)/山川紘矢(訳), 2004『魂の燃ゆるままに—イサドラ・ダンカン自伝』)

例(13)の場合、彼は安らぐことができない悲劇的な人物であり、「漆黒の蔭」「不吉な悪夢」のような「恐怖の幻」にずっと彼の魂はさいなまれている。「男の子の脳裏」を「灰色の奥底」で喩え、その「暗い気持ち」「寂しく陰気なこと」「憂鬱なこと」がよく表われている。また、例(14)の「灰色の生活」は「古代ローマ人の生活」のありさまであり、「質素で規則正しい」という表現を通して、「灰色」と「生活」との共起による作られたこのメタファー表現には「つまらない」という感情に満ちていることを、より切実に感じるようになった。例(15)の場合、「片足を失ったままでの長い人生」、このようなことにあつたら、誰でも最初は暗い気持ちで心に喜びを持っていないはずである。「灰色の道」というメタファー表現は、婉曲的にその「暗さ」「つらさ」「悲しさ」「希望を持たず憂鬱な気持ち」を伝達した。また、例(16)と(17)に関しては、「灰色」はそれぞれ「無秩序」「統一感がない」「個性のない街」と「荒涼とした場所」と共起した。共起語前にある「個性のない」「荒涼とした」という修飾語が表わすように、「生気に欠けている」「街」と「場所」が、「灰色」との共起によって、その「さびしく陰気な気持ち・感情」は更に躍動的に感じられる。

また、図2を見ると、「灰色」を含むメタファー表現のなかでは、同じ表現の頻出度が低い。「世界」「街」「決着」「日々」「時」「青春」「措置」「マルチ」のほか、ほとんど1例ずつである。この点は、「バラ色」を含むメタファー表現と異なっている。

続いて、「灰色の」以外の表し方(計32例)について分析を行う。下記の表5のとおりである。

表5 「灰色」を含むメタファー表現② — 「灰色」の共起表現 (32例)

文脈表現	共起語	用例数
～だった/です/だ/で/ではないか/であるか	すべて×2・街の印象 灰色高官・都会 (軍事状態)・すべての理論	7
～なのだ	根拠はない	1
～が心のなかにまでしみこんできて	世界の灰色	1
～ってことで	灰色(まとめ)	1
～はなく	曖昧さもない	1
～黒/クロに近い灰色(だ)	結論・その他×2	3
～というように見られている	有罪	1
～にぬりこめられた	青春	1
～になる	人生・老老介護	2
～がかかった/かつて	入国ビジネスのイメージ・音色・ ピアノニッシモ(最弱音)	3
～灰色に灰色をかさねてえがく	哲学×4	4
～な(無血無感情な顔を)する	顔	1
～と言えるでしょう	(不倫であるかどうかの判断)	1
～に濁っていく	顔・声・心	1
～になりかねない	長生き	1
～を～にする	人生	1
その他	朝・日本の将来	2

「灰色」を含むメタファー表現の指示対象に関しては、前述した「灰色高官」「人生」のほか、「街の印象」「都会」「結論」「青春」「老老介護」「哲学」「長生き」「日本の将来」などの共起語も現れてきた。表5のまとめにより、「灰色」の二つの比喩的な意味の使用頻度

はほぼ同じであることが分かった。二番目の意味としての「疑惑のあること」「はっきりにしていないこと」の意味は、『国会会議録』『白書』などのような正式な場面でよく用いられているようであるが、実際には、日常生活における「不倫であるかどうかの判断」のような表現も存在していた。「灰色」を含むメタファー表現も、われわれの生活に深く関わり、どんな場面での使用も可能であると考えられる。

(18)～「灰色なのだ。我々もマリーダそのものを調査している。港湾工事にかこつけて世界中の港に顔を売り、麻薬を陸揚げし易くしている節もある。だが、証拠はない。少なくともチリに於いてはね」～

(仁科透, 1996『黒いコンドルー泣くな! 海外駐在課長』)

(19)～～ソロモンは、ここの最初のところでは、灰色がかった音色とゆっくりしたテンポを選んでいたのである。～

(ヨーアヒム・カイザー(著)/門馬直美(訳), 2003『ベートーヴェン 32 のソナタと演奏家たち』)

(20)～小沢リーダーの場合、有罪と決まったわけではないのですが、限りなくクロに近い灰色というように見られているということでしょう。～

(Yahoo!ブログ, 2008)

(21)～「八十六歳と七十七歳の老老介護なんて、聞いただけで真っ暗になるでしょ。だから、せめて灰色になるくらい、明るくしなくちゃね」と。

(稲葉敬子, 2000『オトコの介護力』)

例(18)は、「麻薬調査」において、「証拠はない」ため、「灰色なのだ」というメタファー表現が用いられていた。これは、「灰色」の比喩的な意味「犯罪の有無(黒白)がはっきりしないこと」をもとにしている。似ているのは例(20)、「～有罪と決まったわけではない」「クロに近い灰色というように見られている」という表現である。

また、例(19)の場合、「灰色」と「音色」との共起である。ここでの「和音」は「穏やか」「過剰な情緒と感情が必要ない」、ゆっくりとしたテンポであった。このような「無感動のように奏し出された」テンポは「灰色がかった音色」という色彩語メタファー表現を修飾することによって、その「寂しい気持ち」「穏やかな気持ち」がよりよく伝えられてきた。

最後に、例(21)を見ると、指示対象は「八十六歳と七十七歳の老老介護」になり、それと「せめて灰色になるくらい、明るくしなくちゃね」と共起し、色彩語メタファー表現として用いられていた。「老老介護」は事実上だったら、「難しい」「やり辛い」「悲しい」「憂鬱」という側面があるが、そこから「暗い気持ち」「寂しく陰気な気持ち」を含んでいるようになり、「灰色になるくらい」「明るくしなくちゃね」という表現と共起することによって、逆に、少しでも「希望に満ちている」「明るい先」を感じさせるようになった。これこそ、色彩語メタファー表現の魅力的なところであると思われる。

「バラ色」をめぐってまとめた特徴「一時性」と「可変性」については、「灰色」の中にある表現、「灰色の時」と「灰色のいま」、「灰色の生活」と「灰色の罪深い生活」からも見られる。「バラ色」と「灰色」を含むメタファー表現の中で、その共起語、あるいは指示対象は多様であり、同じ表現としての「日々」「生活」「時」などが挙げられる。一方、「高官」「文献」などの表現は「灰色」独特な修飾対象となっている。逆に「夢」という抽象的な概念に関する表現は「バラ色」を用いた表現の中に、いくつかの用例が見られたが、「灰色」を用いた表現の中に見られなかった。また、二つの色彩語が持っている「比喩的な意味」は、「色のイメージ」と深く関わっていると感じられた。「バラ色」のイメージとして、「幸福・幸せ・明るい・生命力」が挙げられ、「灰色」のイメージの場合、「薄暗い・あいまい・寂しさ・地味・無気力」が挙げられた。色のイメージは、連想からのものもあり、後天的な習慣、経験などから受けるものもある。色はただ色として認識されるだけではない。色の持つイメージをもとに、物理的な色彩を持っていない表現を潤色する。更に、修飾され

た表現はまた膨大な色彩語メタファー表現を派生しつつあり、一般的に共通認識されているものとなっている。この点から見ると、色彩語メタファー表現が「ある程度の一貫性」を持っていると考えられる。

5. まとめと課題

本研究では、コーパスベースに色彩語「バラ色」と「灰色」を含むメタファー表現の使用実態を考察した。これによって、日常生活において、色彩語メタファー表現が頻繁に使われ、次々新しく派生したメタファー表現の生産性が大きく、且つ無限大であるという結論が得られた。更に、抽出したデータを形式と意味の点から分析した結果、「バラ色」「灰色」を含む色彩語メタファー表現に「一時性」「曖昧性」「可変性」と「ある程度の一貫性」という四つの特徴を示した。

また、色彩語メタファー表現の意味変化におけるメタファーの役割について、「抽象的なものを具体化にしてもものを簡潔的に説明できる」、「話し手が自分の感情を的確に表現することができ、聞き手との間に親近感を産み出し、感情を引き起しやすくなる」、「聞き手が話し手の言及した特定の行動に注意を引くようになる」三点を指摘した。

最後に本研究の考察における問題点と今後の課題について三点述べる。

本稿では、非基本色彩語「バラ色」と基本色彩語の下位類にある「灰色」を例にして、その使用実態を確認した。そのうえ、二つの色彩語を用いたメタファー表現の特徴及び色彩語表現の意味変化におけるメタファーの役割を論述した。ただ、二つの色彩語だけで表されたメタファー表現の特徴はまだ不十分であると思う。たとえば、「桃色」「黄金色」、あるいは基本色彩語「赤」を用いたメタファー表現「赤の他人」のような色彩語及び表現を取り扱う場合、どのような結果が見られるのか。この点について、更なる実証的な考察が必要である。

また、今回の考察は、日本語を中心に行われてきた。「他文化的な要因」「社会背景」「コンテクスト」などに関しては多く触れていない。この研究をよりよく充実させるために、この大事な一環をめぐって検討することは今後の課題である。

メタファーの動機付けについて二つの要因があると考えられる。すなわち「類似性」と「経験における共起性」である。色彩語メタファー表現においては、この二つの要因がどのように表されているのか、また、メタファーの役割・機能について理論的にも実証的にも説明が必要となり、それに関しては今後引き続き研究する必要がある。

謝 辞

本稿の執筆において多くの方々に貴重なアドバイスやご指導を頂きました。特にデータの分析(メタファー表現の確認)について、指導教官から丁寧かつ熱心なご指導を賜りました。この場を借り、皆様方に深く感謝を申し上げます。

文 献

- 近江源太郎(2008)『色の名前に心を読む 一色名学入門ー』研究社出版
楠見孝(2007)『メタファー研究の最前線』ひつじ書房
坂本真樹・内海彰(2007)「色彩形容詞と名詞の相互作用による色彩形容詞メタファーの認知効果」認知科学 14-3 pp.380-397
坂本真樹・古牧久典(2005)「心理実験とコーパスを用いた色彩語共感覚メタファーの表現効果研究」日本認知言語学会論文集 5 pp.106-116
鍋島弘治郎(2011)『日本語のメタファー』くろしお出版
松本曜(2003)『認知意味論』大修館書店
G.レイコフ, M.ジョンソン著; 渡部昇一・楠瀬淳三・下谷和幸訳(1986)『レトリックと人生』大修館書店